

日本航空に争議解決を求める
JAL 争議 Change.org
ネット署名にご協力下さい!

フェニックス PHOENIX

＜発行＞
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会 03-3742-3251
http://www.kohkuren.org/

進むワクチン接種 回復する国内線

遅れる国際線 労使交渉続く外航

コロナ変異株 懸念される感染拡大

新型コロナウイルスの変異株の感染拡大が懸念されるなか、東京オリンピック・パラリンピックが始まりました。一方で、ワクチン接種に供給が追い付かず、職域接種の一時中止が発表されるなど、日々も起きています。ワクチン接種によって航空需要回復への期待の一方で、新たな問題も起きています。回復が遅れる国際線と、雇員労働者の雇用状況、そして今後の課題を改めて考えます。

「新型コロナの変異株の感染拡大が早いのか、今が正念場」そんな声がある。政府の発表では11月末にはワクチン接種希望者の接種を終えるとしています。

国内航空会社の8月の国内線運航率は8割前後を計画しています。一方、外航各社の日本路線の旅客便は、依然として

「新型コロナの変異株の感染拡大が早いのか、今が正念場」そんな声がある。政府の発表では11月末にはワクチン接種希望者の接種を終えるとしています。



オリンピック参加者の帰国で忙しい国際線旅客カウンター。7月26日、羽田空港

るには本国政府の支援が欠かせない。組員の生活を守るためにも全力で闘う」と話します。ユナイテッド航空では、本国内の旅客需要の回復の一方で、日本国内では人員削減が本格化しています。退職を促す面接も始まっており、U/A労組は組員の面接に不当な退職勧奨がないよう労組役員が同席しています。

外航ではオリンピックを契機に旅客便が連航を再開していますが、スカンジナビア航空(SK)のように「旅客便の連航はオリンピック期間のみ」との対応で、日本人客室乗務員の乗務はありませんが、SKでは、日本基拠所属の日本人客室乗務員の人員削減をめぐりギリギリの交渉が続いています。

業態悪化による賃金削減がきています。雇用不安に加え必要な資格維持のための訓練やトレーニングもできないなど、さまざまな問題に直面しています。

国内航空会社に働く客室乗務員は10年以上のシニア乗務員でも、久しぶりのフライトでは緊張感が以前より大きい。2

新型コロナと航空

コロナ長期化でストレス増

ワクチン接種の進展による旅需要の回復が予想される一方で、今後起こる問題への対応や準備が急務になっています。

新型コロナウイルスによる減収の影響を受け、国内各社の客室乗務員は乗務機がコロナ前の約3割から4分の1にまで激減しました。また

外航航空会社の客室乗務員はコロナ禍が始まって一年以上の間、全く乗務ができていません。雇用不安に加え必要な資格維持のための訓練やトレーニングもできないなど、さまざまな問題に直面しています。

米国で増加 安全阻害行為

ワクチン接種が進むアメリカでは、旅客の増加とともに安全阻害行為が客が増加し、コロナ前比較で20倍になったと報道されています。その原因の多くがマスク着用をめぐるトラブルです。

国内航空会社に働く客室乗務員は10年以上のシニア乗務員でも、久しぶりのフライトでは緊張感が以前より大きい。2

主な記事から

- 高まらない安全、じわり広がる健康不安。グラハン職場の安全健康アンケート 2面
5月31日は国際キャビンクルーデー。客室乗務員が担う保安任務とは 2面
JAL争議：婦団連、争議解決求め組織委員会に「女性アピール」署名を提出し面談 3面
JCU、客乗職場の差別問題等でANAと団体交渉 3面
南極での航空機オペレーション。安全会議だより 4面
世界初のブロック間輸送協定に労働条項定める 4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

「夏が来れば思い出す。はるかな尾瀬と空の歌謡。おなじみの「夏の思い出」。尾瀬ヶ原は山歩きをしていたころに一度行ったことがある。夏の終わりが近づくと、尾瀬もおなじみのミバヤシウもニッコウキスゲも見ることができなくなってしまった。澄んだ夏空は歌詞の通りでした。青空の下でオリンピック、パラリンピックが始まりました。日本選手団の活躍が期待される競技を中心に、テレビは連日

メンタル面の対応も急務です。地方出身の客室乗務員の中には、感染拡大防止のため「田舎に帰る」と言われたり「お盆休みもありません」と話せる人もいます。こうしたことから「孤独を感じる」と、気分が後ろ向きになる。など、パンデミックの影響が長期化するなか、選手や大会関係者など感染者は130人(7月26日時点)を超えました。心配された新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。都内では連日1000人を超え、週平均増加率は前週比で150%増。分科会の尾身会長は、「8月第1週には都内の感染者は3000人」との見通しを示しています。不安もあれば希望もあります。オリンピックを通して差別や人権など踏んでいた問題が表面化しました。悲観せず、良い社会に見直す契機とした。



JOINT STATEMENT FROM IATA & ITF ON INTERNATIONAL CABIN CREW DAY #CabinCrew
ITFとIATAの共同ポスター。5月31日配信

じわり広がる健康不安

グランドハンドリング職場の安全・健康アンケート



航空機に貨物を積み込む作業員

減便のなか職場の安全高まらず

懸念される睡眠時間 航空機損傷

航空運送(グランドハンドリング)の労働者(グランドハンドリング)は5月、「2021グランドハンドリング職場の安全・健康アンケート」調査を行いました。コロナ禍による大幅な減便にもかかわらず、職場の安全は高まらず、健康不安がじわり広がりをみせています。アンケートの特徴を報告します。回答数は11社・319枚(前回349枚)。カッコ内は2020年4月調査結果。

■職場の安全

「2020年度を振り返り、あなたの職場の安全は向上したと思いますか」とは、「安全が向上した」37.3%(28.6%)、「かわらない」39.4%(29.2%)、「安全が低下した」23.3%(22.2%)と答えられた。原因を聞いてみると、「2020年度あなたの職場で事故・トラブルが発生したか、発生した場合は該当するものを選んで下さい」とは「発生していない」31%(42.4%)、「発生した」69%(28.6%)、「不明」1.4%と回答した。発生した場合は、「前年度より11.4ポイント減少」。一方発生状況を見ると、車両事故が30.7%(39.8%)と最も多く、施設損傷17.9%(9.2%)、航空機損傷事故9.7%(7.1%)と回答した。

■睡眠と健康

健康状態では、「良好」45.7%(50.3%)に、「自覚症状あり」21.1%(29.4%)、「不安を感じている」33.2%(44.3%)と回答した。平均睡眠時間は5時間未満15.8%(16.9%)、6時間46.8%(49.6%)、7時間25.6%(25.7%)、8時間以上11.6%(12.4%)と回答した。

■人員

人員配置では「適正」と思う26.7%(18.2%)、「不足している」73.3%(72.3%)と回答した。5割超が人員不足と感じています。減便のなかでも稼働重視の人員配置が背景にあると思われる。人員構成では「正員のみ」は30.4%(35.9%)と、有期雇用が占める割合が徐々に高まっています。

「自覚症状について医療機関を受診したか」とは「受診した」27.4%(45.6%)、「受けていない」72.6%(54.4%)と回答した。

乗客の安全担う客室乗務員

5月31日は「国際キャビンクルーデー」。

ITF(国際運輸労働者連帯)は、客室乗務員が果たす保安業務の役割を、世界中に周知させるため、この日を「国際キャビンクルーデー」と制定しました。

ITFは「国際キャビンクルーデー」を制定し、乗客の安全を維持する上で、客室乗務員が果たす役割の重要性を改めて認識し、これを乗客・乗務員、航空機の保護という意味でも同様である。過去の事故調査から、客室乗務員の対応は、航空機からの避難を適切に行い、乗客や乗務員が生存できるかを決定する重要な要因であると評価されている。

航空運送は、国際キャビンクルーデーに合わせてビデオを作成し、ホームページで公開しています。ぜひ視聴していただき、

5月31日は国際キャビンクルーデー

「20.3%。自覚症状あり」と「不安を感じている」とを合わせると54.3%(49.7%)が健康面に不安を感じています。自覚症状や不安を感じる中身は「腰痛」41.5%(49.2%)、「ストレスを常に感じる」40.3%(49.2%)、「疲れがとれない」38.6%(47.7%)の順となり、「眠れない」は19.3%と年連続で増加しました。症状の原因については「仕事・年齢・人間関係を挙げる一方、「買金の減少」が17.9%でした。

「自覚症状について医療機関を受診したか」とは「受診した」27.4%(45.6%)、「受けていない」72.6%(54.4%)と回答した。

平均睡眠時間は5時間未満15.8%(16.9%)、6時間46.8%(49.6%)、7時間25.6%(25.7%)、8時間以上11.6%(12.4%)と回答した。

(7.9%)でした。コロナ禍での休業や在宅勤務などを背景に若干の改善がみられるものの、依然として6割超が平均睡眠時間6時間以下にあり

CISMセミナー リカレントコースのご案内

- 開催日時：8月28日(土) 13時~16時
- 開催方法：オンライン開催(ZOOM)
- 受講対象者：CISMセミナー(グループコースおよび個別対応コース)両コースを受講済みの方。
- 定員：20名程度
- 受講料：無料
- 受講内容：Individualスキルの復習
- 講師：中濱 Ph.D ICISF(International Critical Incident Stress Foundation) 公認インストラクター、臨床心理士で公認心理士
- セミナー申し込みおよび申し込み方法
参加申し込みは、各番組でとりまごめの上、下記アドレスへお申し込み下さい。

Aviation CISM JAPAN事務局：office@cism-japan.org
(申し込み事項)
1. 所属単組
2. 参加者氏名
3. 参加者のメールアドレス (ZOOM URL を配信させていただきます)
(締め切り)
一次締め切り：8月13日(金)
二次締め切り：8月20日(金)

主催：Aviation CISM JAPAN事務局(日本乗員組合連絡会議、航空安全推進連絡会議)

パンデミックにより、航空業界は未曾有の危機に瀕しています。ワクチン接種が進む国は、経済の回復に合わせ国内線が回復傾向にあるものの、国際線は入国制限などの影響で回復には依然程遠い状況です。いまだかつてない危機にあり、世界中の客室乗務員の雇用と賃金が脅かされています。

日本国内では外国航空会社で働く女性社約制客室乗務員の雇約の打ち切りや、雇止めが発生し、また国内航空会社で働く客室乗務員の雇用と賃金が脅かされています。

客室乗務員は「IATA」とITFの共同声明で出されているように、コロナ禍でも客室乗務員は最前線で保安業務を行っている。コロナ危機からその任務が軽減されるわけはない。旅客数の多い少ないに関係なく、常にCritical EventなMinutes航空機事故が集中していると言われる離陸後3分、着陸前8分に備え、機内火災や

病人発生への対応も行っている。客室乗務員は、生活のための副業を会社で認めざるを得ないほど賃金が激減しました。

ワクチン接種が進み経済回復が本格化するアメリカでは、マスクの着用を命じる機内迷惑行為や安全阻害行為等がコロナ前と比較して20倍になっていると報道されています。こうした問題はワクチン接種が進むにつれ日本国内でも予想され、早急に対策が求められます。

※航空運送客室乗務員を取りまとめる専門部、ご協力ありがとうございます。

婦団連、争議解決求め組織委員会と面談

「女性アピール」賛同署名を提出

内田団長 ILO勧告など経緯を説明

JAL解雇争議

JAL争議の解決を求める日本婦人団体連合会(婦団連)は7月2日、東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会に争議解決を求める「女性アピール」賛同署名を提出し面談しました。組織委員会前では、JAL解雇争議と婦団連による宣伝行動も取り込まれました。とちや降りとあいにく天候でしたが、大会組織委員会があるトランスクウエア前(東京都中央区)の宣伝行動には争議団・支援者など20名が参加しました。



オリパラ組織委員会前での宣伝。7月2日

支援共闘を代表してあいさつした吉永共同代表(日本マスコミ文化情報労組会議議長)は「女性が働き続けられる職場づくりのために頑張ってきたJALの客室乗務員が2010年の大晦日に解雇された。JALはジェンダー不平等を体現するような解雇争議をすぐに解決すべきだ」と訴えましました。大会組織委員会との面談には、婦団連の柴田真佐子会長、長尾詩子弁護士、斎藤原由樹・内田妙子団長が、組織委員会からは持続可能性部の荒田有紀部長が対応しました。面談は当初5月20日

今日伺った話はJALに伝えるパンフレットは橋本会長に渡す

解雇当時も、そして今回もアピールを呼びかけてきました。労働組合、女性団体、弁護士、医師、大学教授、映画監督から508筆の賛同署名が寄せられ1日も早い解決を願っていることも書かれています。オリピック憲章では差別を許さないことが第一義です。日本航空がオプショナルパトナーであり、ジェンダー差別をしたままで良いのか。オリンピックを契機に解決するよう、日本航空には是非働きかけて欲しい」と要請しました。内田団長からは「客室乗務員として30年誇りを保持して仕事を続けてきましたが、2010年大晦日に解雇されました。JALは2012年4月から客室乗務員の採用を再開、しかし被解雇者の優先雇用がされないまま現在まで6200名が採用されています。2018年秋には経験者採用の募集があり、試験を受けるよう言われ応募もしましたが、面接で不採用とされ二重の人権侵害で更に傷つけられました。ILO(組織委員会)とパトナー(組織委員会)は10年間、再雇用も含めて解決するよう勧告を出し続けてきました。



KLM雇い止め問題を訴えるJCU・木谷委員長。7月15日、東京地裁前

この問題の解決は、日本航空のジェンダー平等に向かうアピールにもなりませう」とこの間の経緯と日本航空の対応を説明しました。説明に熱心に耳を傾けた荒田部長は「解雇されたのは、全員女性で家庭

東京地裁 労使双方に資料提出を指示

KLM雇い止め撤回裁判

労務提供地はどこの

客室乗務員が一人でも加入できる労働組合として活動するキャビンクルーユニオン(JCU)。KLMオランダ航空の雇い止め撤回裁判で、全空の理不尽な差別問題等に取り組んでいます。KLMオランダ航空の雇い止め撤回裁判は7月15日、東京地裁で第1・2・4陣裁判の第12回口頭弁論が行われました。今回は、5月17日裁判で、原告側(以下、組合側)が「法の適用に関する通則法に基づき、オランダの法適用で無期雇用となる」と主張したことにに対し、会社側が反論しました。

JCU 全日空と団体交渉

JCUは6月29日、ANA客室乗務員組合員の休憩問題や差別問題等で団体交渉を行いました。国内線と近距離国際線乗務員の休憩時間がこれがない問題で、ANAは「法に基づき運用を行っている」と回答しましたが、JCUは「休憩またはそれに代わる時間(レスト)の付与」の具体例や運用例を示すよう求めましたが、回答はありませんでした。バスポート取得(更新)費用の退職時の残り年数分の返金問題では、運航業務員には退職時に返金の規定がないことから、客室乗務員規定の見直しを求めたところ、「合理的な運用であり問題ない」との回答でした。ジェンダー視点からも早急には是正が必要な問題です。

60歳以降、希望者は全員65歳までフライトできる制度にすることを

「60歳以降、希望者は全員65歳までフライトできる制度にすることを」という指示を示しました。日本におけるスタンバイは、全勤務時間となるような運用ではありません。提出する勤務実態の資料を早急に、会社主張の矛盾を明らかにする必要があります。

8月31日身法廷。9月27日18・10・東京地裁6・3・J身法廷。8月5日13・30

「60歳以降、希望者は全員65歳までフライトできる制度にすることを」という指示を示しました。日本におけるスタンバイは、全勤務時間となるような運用ではありません。提出する勤務実態の資料を早急に、会社主張の矛盾を明らかにする必要があります。

入権侵害の「掃」要求は、ANAは「差別や権侵害などの回答はありませぬ」との事実に

「入権侵害の「掃」要求は、ANAは「差別や権侵害などの回答はありませぬ」との事実に基づき、JCUは引き続き差別や権がらむの実態を明らかにし、是正を求めました。

7月23日は3回目の団体交渉が行われ、職場実態の改善を求めました。

7月23日は3回目の団体交渉が行われ、職場実態の改善を求めました。

安全会議だより 142

寄稿 南極での航空機オペレーション

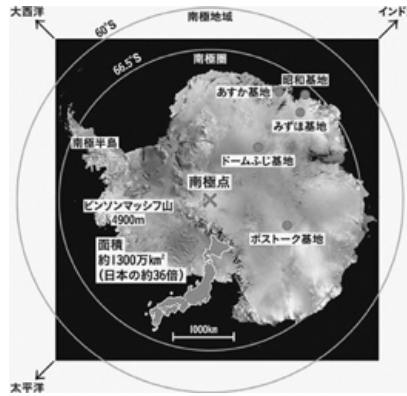
沖繩支部 西巻英明

南極越冬隊員として南極での航空機オペレーションにかかわった沖繩支部の西巻英明さんに寄稿していただきました。

日本の南極観測の歴史は古く、1957年に第1次南極地域観測隊が昭和基地以下、昭和を開設してから、現在に至るまで60年以上にわたって様々な分野で観測が行われている。多くの観測は南極大陸沿岸から約4



(公財)日本極地研究振興会提供



写真上：オペレーションの様子
写真下：南極の地図と昭和基地

キロ離れた東オングルにある昭和の周辺で行われるが、昭和から離れた場所で行われる観測もあり、その際にしばしば航空機が用いられている。筆者は2004年11月から2006年3月まで第46次南極地域観測隊の越冬隊に参加し、昭和から南に約1000キロ

メートル離れたドームふじ基地（以下、ドーム）での観測に際して実施された航空機オペレーションにかかわる機会があった。

このオペレーションの概要としては、越冬中の隊員7名が昭和から雪上車で出発し、ドームへのルートにある航空中継の拠点（ARP2）に先着した。その後、別の隊員7名が日本から航空機でシムカポールやケープタウン、南極大陸沿岸のロシアの基地を経由してARP2に到着し、台流して雪上車でドームへ向かった。ドーム到着直前にマイナス60度を下回る気温を観測した。ドームで約2か月半滞在して観測を行った後、ドームから航空機で日本へ向かう隊員と雪上車で昭和へ向かう隊員に分かれそれぞれ帰路についた。ARP2及びドームを離着陸する航空機はスキー付きの

EUとASEAN

世界初のブロック間輸送協定 労組の奮闘で労働条項定める

EUとASEANの間で世界初の「ブロック間航空輸送協定」が締結されました。今後の展開が注目されますが、ITF（国際運輸労連）のコメントを紹介します。

6月22日、東南アジア諸国連合（ASEAN）と欧州連合（EU）は、EUとASEANの間で世界初の「ブロック間航空輸送協定」が締結されました。今後の展開が注目されますが、ITF（国際運輸労連）のコメントを紹介します。

EUとASEANの間の航空輸送協定は、EUとASEANの間の航空輸送協定（AECAT）を締結しました。世界初のブロック間航空輸送協定です。

6月4日の（EU・ASEAN）合同プレスリリースは「この協定は、

COVID-19パンデミックによって打撃を受けたASEANと欧州間の航空の利便性の再構築と両地域の航空産業にとって新たな発展の助となるだろう。両方の当事者は、パンデミックによって引き起こされた航空サービスの混乱を最小限に抑えるため、綿密な協議と協力を維持する意向を表明した」と述べています。

ITF民間航空部会のガブリエル・モチョ・ロドリゲス書記は「ASEAN

100年たつても歯の治療は痛い！高い！嫌なもの 新・口中医桂助事件帖 志保のバラ

和田はつ子 著



いつ、歯医者に行こう？まだ、いいだろうと迷って1年が過ぎてしまいました。結局、痛みが我慢できなくなってきた。歯医者さん、奥歯の入れ歯の具合が合わない...

い、歯槽膿漏が悪化しつつあるらしい、だけど、我慢できない状態ではなく美味しく食べられると、予算の事情もあるので、徒歩1分の歯医者さんが遠いのです。そんなことを思いながら本屋をフラフラしていたら、明治時代の歯医者の表紙の本紙が目につきました。時代小説・筆者の著書はよく拝読しているもので直ちに購入です。アメリカで口中医療を学んだ藤屋桂助が妻の志保、親友たちと共に明治の日本に帰ってきて事件を次々に解決して今日では日曜日、大河ドラマ「開天闢地」を見るのが楽しみで

す。渋沢栄一を演じる吉沢亮さんや15代将軍役の草野剛司さんが、今日ほどような後回りの演じ、そして時代がどう変化していくのかワクワクします。実は、本書で、將軍職を退いた藤屋慶喜が、かつて部下、渋沢栄一を連れて歯の治療にやってくるのです。思わず、吉沢亮さん、草野剛司さんを連想してしまいました。それにしても、マスクの生活がこんなに長くなるとは思いませんでした。マスクが取れたら歯医者に行ってしまう。

ちびむすぶろ

新型コロナウイルス感染症拡大で、外に出かける時はいつでもマスクを着用するようにになり、マスクをしていない人に違和感を感じてしまふほど、マスクが日常生活の必需品になっていきます。タイプごとのマスク？ 誰が買うの？洗濯は？ などと悩むことが増えていて、ちょうど大学生の息子宛てに悪友から誕生日プレゼントの小包が届きました。開けてみると中には馬の頭の被り物とマスク代わりのメッシュ。マスク生活に飽きた学生たちのユーモアのようです。

パンデミックによって打撃を受けたASEANと欧州間の航空の利便性の再構築と両地域の航空産業にとって新たな発展の助となるだろう。両方の当事者は、パンデミックによって引き起こされた航空サービスの混乱を最小限に抑えるため、綿密な協議と協力を維持する意向を表明した」と述べています。

ふぶきで身動きがとれない日もあったが、フライド当店は天候に恵まれ無事に任務を終えることができた。

あれから半年。今ではどこでもマスクが手に入るようになった。タイプごとのマスク？ 誰が買うの？洗濯は？ などと悩むことが増えていて、ちょうど大学生の息子宛てに悪友から誕生日プレゼントの小包が届きました。開けてみると中には馬の頭の被り物とマスク代わりのメッシュ。マスク生活に飽きた学生たちのユーモアのようです。